

抄読会

博士論文第一次審査会の発表練習

博士課程4年 弘田 紗瑛子

概要

小児や希少疾病は、患者数が少ないことによる低収益性や病態解明の難しさから、医薬品の研究開発が困難な領域と認識されており、開発段階で得られる有効性及び安全性データは限定的であることから、製造販売後に継続的な情報収集と安全性評価を行うことの重要性が指摘されている。本研究では、日本及び諸外国における小児用医薬品／希少疾病用医薬品の承認状況と医薬品製造販売後安全対策の現状を比較した。

2017年4月より取り組んできた、日本、米国、欧州における希少疾病用医薬品及び小児用医薬品の承認状況と製造販売後安全対策に関する研究結果を取り纏め、令和2年度9月修了予定で学位審査申請を行った。6月23日(火)に博士論文第一次審査会が予定されており、本抄読会ではその発表練習を行った。